



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.70
2025. 1. 1

旧優生保護法裁判 最高裁判決を受けて

-兵庫の第三次訴訟も和解へ!!-

10月24日(木) 神戸地方裁判所

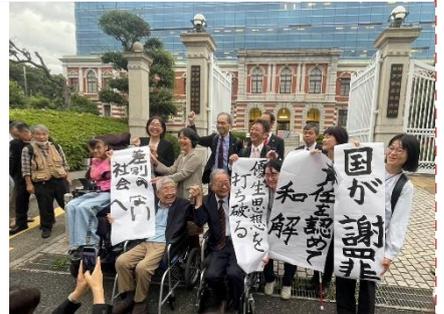
こんな穏やかな気持ちで神戸地裁の門をくぐる日が来るなんて! いや、やっとこの日が来たんだ! 和解期日の日を迎えたその日は、これまでとは違った緊張感と、晴れ晴れとした思いで法廷に入りました。手話通訳を少し身を乗り出すような、そして何度も頷きながら見つめている原告を斜め後ろから見ていると、自然と涙が溢れました。

基本合意書には『国の責任と謝罪』『補償法に基づく施策』等が明記されています。今回「お金が欲しいのではない。障害者が我慢するのが当たり前ということを先頭に立って変えたい」と、勇気を持って声

をあげた原告、その思いを同じにした方々の苦しみ怒り悲しみが報われるのは、これからの社会の有り様だと思います。当事者が受けた心と身体への傷は消えることはなく、そして、和解期日は終わりではなくひと区切り。国は障害当事者や弁護団と『障害のある人への差別偏見の意識や制度をなくすことを目指すための協議』を始めるとのこと。裁判所での情報保障や障害のある人が裁判を受ける権利は十分に保障されておらず、今回の最高裁が認めた傍聴者への手話通訳費用は下級審では認められていないなど、課題は山積みようです。聴覚障害者や手話に関わる1人として、これからの動向を見守り、ともに歩む思いを強くしました。

まだ夏の暑さは残っていても空は高く、秋を感じる好い日でした。

(高木恵理)



第三次訴訟の原告お二人のお顔は掲載できませんが最高裁で勝訴した小林さんも一緒に最高の笑顔でともに喜びました。

**「第28回全聴福研」が
兵庫で開催されました!** 11/30~12/1の2日間
神戸市中央区文化センター
に全国から375名が参加

第1分科会「福祉実践と福祉制度の在り方を考える」でひとりぼっちゼロPROJECTがレポート報告しました。[参加者36名]
—レポート概要—

『神戸長田ふくろうの杜建設後の運動と今後の取り組み課題』
2013年に実施した兵聴協の実態調査から浮かび上がった聞こえない人の“社会的孤立”、仲間が集える拠点づくりを目標に完成したふくろうの杜は2020年に開所して4年になります。PROJECTでは「平和学習会」「人権学習会」「映画上映会」を実施、優生保護法問題では映画「沈黙の50年」の上映、100万人署名運動、優生保護法問題学習会への講師派遣などを実施してきました。しかし、コミュニケーションが保障された身近な施設を増やして欲しい、災害時にきこえの配慮があり、安心して避難できる制度が欲しいという声は高く、災害時に手話通訳者は動けるのかと制度に直結する課題も議論されています。「神戸長田ふくろうの杜ができたから終わり」ではなく、兵庫全体で「きこえない人のひとりぼっちをなくそう」を目標に仲間づくりと運動を続けていきたい。「一人ひとりを大切に、地域とともに生きる、インクルーシブな社会づくり」をあなたも共に考えて歩いて行きましょう。

【全聴福研】全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会
1984年に京都府綾部市で「いこいの村研究交流集会」—重複重度の聴覚言語障害者の発達と権利を考える集会—として第1回が開催され1997年に全国的な取り組みへの発展を目指して現在の名称に変更し回を重ねてきています

予告 映画「星に語りて」上映会
上映日:2025年2月24日(月・振休)
2回上映①11:00~13:00(受付10:30~)
②14:00~16:00(受付13:30~)
会場:兵庫県中央労働センター
協力券:1,200円 ※小学生以下600円
詳細は後日お配りする宣伝チラシをご覧ください

**映画『沈黙の50年』引き続き
県下各地域で上映会の計画を!**
映画上映会など映画に関するお問合せ先
chinmoku50.m@gmail.com